

## 平成21年4月期 第1四半期決算短信

平成20年9月1日

上場会社名 株式会社 ザッパラス

上場取引所 東

コード番号 3770 URL http://www.zappallas.com

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 杉山 全功

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 山崎 浩史

TEL 03-5475-7133

四半期報告書提出予定日 平成20年9月12日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年4月期第1四半期の連結業績(平成20年5月1日～平成20年7月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年4月期第1四半期	2,523	—	694	—	689	—	401	—
20年4月期第1四半期	1,928	17.9	452	30.5	450	30.0	213	23.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年4月期第1四半期	3,042.68	2,948.88
20年4月期第1四半期	1,655.54	1,577.12

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
21年4月期第1四半期	6,428	5,075	5,075	4,979	78.5	38,191.88
20年4月期	6,705	4,979	4,979	4,949	73.8	37,779.69

(参考) 自己資本 21年4月期第1四半期 5,045百万円 20年4月期 4,949百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年4月期	—	0.00	—	2,500.00	2,500.00
21年4月期	—	—	—	—	—
21年4月期(予想)	—	0.00	—	3,200.00	3,200.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年4月期の連結業績予想(平成20年5月1日～平成21年4月30日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	4,543	13.5	1,167	25.5	1,176	26.1	694	39.2	5,256.39
通期	9,342	9.3	2,423	29.6	2,442	29.8	1,440	40.2	10,867.81

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

新規 一社(社名) 除外 一社(社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年4月期第1四半期 132,120株 20年4月期 131,020株

② 期末自己株式数 21年4月期第1四半期 一株 20年4月期 一株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年4月期第1四半期 131,978株 20年4月期第1四半期 128,766株

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は添付資料の3ページを参照して下さい。

・当連結会計年度より「四半期連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、原油をはじめとする原材料価格の高騰による物価上昇や円高ドル安、サブプライムローン問題の影響など景気の先行きは混迷を極め、消費動向にも大きく影響してきております。

モバイルビジネスを取り巻く環境につきましては、平成20年7月31日現在における携帯電話の累計契約台数は10,403万台、そのうち第3世代携帯電話端末の台数は9,175万台(注)(前年同期比20.1%増)となっており、全体の88.2%を占めるに至っております。

このような環境の中、第2ステージへの成長を目指して、更なる企業収益力の基盤強化を当連結会計年度のテーマとして取り組んでおります。デジタルコンテンツ事業におきましては、新規カテゴリーでのサイト立ち上げとともに「古い」カテゴリーに続く新しい収益の柱を育成すること、コマース関連事業につきましては、モバイルコマース事業においては新規ショッピングサイトの投入による商材の拡充、また子会社で展開している携帯電話販売事業においては、引き続き経営資源の集中による業務効率の向上により早期での収益化を図ってまいります。

この結果、当第1四半期連結会計期間の売上高は2,523,501千円(前年同期比30.9%増)、営業利益694,919千円(同53.6%増)、経常利益689,792千円(同53.0%増)、当期純利益401,567千円(同88.4%増)となりました。

なお、セグメント別の概況は以下の通りであります。

(注) 社団法人電気通信事業者協会の調査に拠っております。

#### ① デジタルコンテンツ事業

デジタルコンテンツ事業におきましては、収益性を高めながら安定的な成長を確保することを事業方針として取り組みを行っております。当連結会計年度におきましては、新規サイトの投入による集客力の向上および「古い」カテゴリーに続く収益の柱を育成することに注力しております。

当第1四半期連結会計期間の具体的な施策といたしましては、モバイルコンテンツでは17サイト、PCコンテンツでは13サイトの新規投入を行い、当連結会計期間末現在における月額課金会員数は202万人、ダウンロード会員数は10万人、合計212万人となりました。

この結果、当第1四半期連結会計期間末現在、当社グループが運営する携帯電話向け公式コンテンツは275サイト、PC向け132サイトとなり、当第1四半期連結会計期間の売上高は1,984,019千円(前年同期比38.0%増)、営業利益は789,075千円(同36.6%増)となりました。

#### ② コマース関連事業

当社グループのコマース関連事業は、モバイルコマース事業と携帯電話販売事業の2つに大きくわけられます。モバイルコマース事業におきましては、商材の拡充と集客の強化を課題とし取り組んでおり、当第1四半期連結会計期間におきましては、従来に引き続き効率的な広告宣伝費の投入による顧客の拡大に努めてまいりました。また、子会社の株式会社ジープラスにおきましては、管理機能の集約により、早期での収益化実現に向けて努めております。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末現在、当社が運営する公式ショップは20サイト、子会社が運営する携帯電話ショップ3店舗となり、当第1四半期連結会計期間の売上高は469,225千円(前年同期比14.8%増)、利益面に関しましては、モバイルコマース事業および携帯電話販売事業での営業損益が改善したことが寄与して、営業利益37,699千円(前年同期43,065千円増加)となりました。

#### ③ その他の事業

その他の事業におきましては、前連結会計年度から引き続きSuica.jpのシステム開発およびサイト運営に関する売上の他、広告事業等の収益が計上されております。

この結果、当第1四半期連結会計期間における売上高は70,255千円(前年同期比13.8%減)、業務の効率化を図り、人件費や外注費の削減によって、営業利益4,635千円(前年同期9,992千円増加)となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

### ①資産、負債および純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して277,063千円減少し、6,428,188千円となりました。その主な要因は配当金の支払による現金及び預金の減少278,485千円等によるものであります。

負債は前連結会計年度末と比較して373,160千円減少し、1,352,405千円となりました。その主な要因は、未払金の減少122,057千円、未払法人税等の減少270,275千円等によるものであります。

純資産は前連結会計年度末と比較して96,097千円増加し、5,075,783千円となりました。その主な要因は利益剰余金の増加額74,017千円によるものであります。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して640,703千円減少し、2,239,652千円となりました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の減少は79,120千円(前年同期比485.5%増)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益689,640千円の計上、減価償却費52,507千円、仕入債務の増加額47,226千円があったものの、法人税等の支払額541,942千円、売上債権の増加額131,945千円、未払金の減少額197,727千円等による減少があったためであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は304,907千円(前年同期385,949千円減少)となりました。これは主に、定期預金の預入による支出100,000千円、有価証券の取得による支出100,000千円、投資有価証券の取得による支出100,000千円等が発生したためであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は256,675千円(前年同期比89.9%増)となりました。これは主に配当金の支払額278,485千円等によるものであります。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当連結会計期間におきましては、主力のデジタルコンテンツ事業においては「占い」カテゴリに続く収益の柱の育成、コマース関連事業につきましてはモバイルコマースでの新規ショッピングサイトの立ち上げによる商材の拡充、携帯電話販売事業での管理機能の集約化と早期の収益への貢献に努めております。

当第1四半期連結会計期間の業績は、概ね当初の業績予想通りに推移しているため、平成21年4月期の連結業績予想につきましては、平成20年6月5日に発表した連結業績予想に変更はありません。

## 4. その他

### (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年7月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,286,553	1,978,309
売掛金	2,088,209	1,956,263
有価証券	1,503,587	1,502,910
商品	29,226	18,103
その他	91,476	111,281
貸倒引当金	△28,556	△22,783
流動資産合計	4,970,497	5,544,084
固定資産		
有形固定資産	111,734	115,598
無形固定資産		
ソフトウェア	159,911	152,699
のれん	237,359	240,767
その他	21,807	19,128
無形固定資産合計	419,078	412,595
投資その他の資産		
投資有価証券	657,721	366,848
その他	279,158	276,125
貸倒引当金	△10,000	△10,000
投資その他の資産合計	926,879	632,973
固定資産合計	1,457,691	1,161,167
資産合計	6,428,188	6,705,252
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	582,050	534,823
未払金	346,534	468,592
未払法人税等	282,996	553,271
役員賞与引当金	8,456	—
その他	132,368	168,878
流動負債合計	1,352,405	1,725,566
負債合計	1,352,405	1,725,566
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,432,443	1,421,443
資本剰余金	1,357,818	1,346,818
利益剰余金	2,255,649	2,181,632
株主資本合計	5,045,911	4,949,894
少数株主持分	29,871	29,791
純資産合計	5,075,783	4,979,686
負債純資産合計	6,428,188	6,705,252

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年5月1日 至 平成20年7月31日)
売上高	2,523,501
売上原価	895,224
売上総利益	1,628,276
販売費及び一般管理費	933,356
営業利益	694,919
営業外収益	
受取利息	3,915
その他	275
営業外収益合計	4,190
営業外費用	
持分法による投資損失	9,127
その他	190
営業外費用合計	9,317
経常利益	689,792
特別損失	
固定資産除売却損	152
特別損失合計	152
税金等調整前四半期純利益	689,640
法人税、住民税及び事業税	277,497
法人税等調整額	10,495
法人税等合計	287,993
少数株主利益	79
四半期純利益	401,567

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間  
 (自 平成20年5月1日  
 至 平成20年7月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	689,640
減価償却費	52,507
長期前払費用償却額	998
のれん償却額	3,407
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	5,772
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	8,456
受取利息	△3,915
固定資産除売却損益 (△は益)	152
持分法による投資損益 (△は益)	9,127
売上債権の増減額 (△は増加)	△131,945
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△9,421
仕入債務の増減額 (△は減少)	47,226
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△17,280
未払金の増減額 (△は減少)	△197,727
その他	2,477
小計	459,475
利息の受取額	3,345
法人税等の支払額	△541,942
営業活動によるキャッシュ・フロー	△79,120
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△100,000
定期預金の払戻による収入	50,000
有価証券の取得による支出	△100,000
有形固定資産の取得による支出	△12,581
無形固定資産の取得による支出	△52,332
投資有価証券の取得による支出	△100,000
差入保証金の差入による支出	△30
差入保証金の回収による収入	2,397
保険積立金の払戻による収入	7,638
投資活動によるキャッシュ・フロー	△304,907
財務活動によるキャッシュ・フロー	
株式の発行による収入	21,810
配当金の支払額	△278,485
財務活動によるキャッシュ・フロー	△256,675
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△640,703
現金及び現金同等物の期首残高	2,880,355
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,239,652

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年5月1日 至 平成20年7月31日）

	デジタル コンテンツ 事業 (千円)	コマース関 連事業 (千円)	その他の 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全 社(千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	1,984,019	469,225	70,255	2,523,501	—	2,523,501
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,984,019	469,225	70,255	2,523,501	—	2,523,501
営業利益又は営業損失(△)	789,075	37,699	4,635	831,410	△136,490	694,919

(注) 1. 事業区分の方法

事業はサービスの内容及び特性を考慮して区分しております。

2. 事業区分の内容

事業区分	主要サービス
デジタルコンテンツ事業	モバイルコンテンツ及びWEBコンテンツ等の提供
コマース関連事業	インターネットや店舗等での商品販売
その他の事業	上記に該当しない事業活動により生じたもの

b. 所在地別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年5月1日 至 平成20年7月31日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社および重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

c. 海外売上高

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年5月1日 至 平成20年7月31日）

海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年4月期 第1四半期)
	金額(千円)
I 売上高	1,928,059
II 売上原価	829,609
売上総利益	1,098,450
III 販売費及び一般管理費	646,149
営業利益	452,300
IV 営業外収益	
1. 受取利息	19
2. 受取手数料	159
3. 消費税等還付加算金	48
4. その他	21
営業外収益合計	249
V 営業外費用	
1. 株式交付費	167
2. 投資事業組合損失	1,555
3. その他	0
営業外費用合計	1,723
経常利益	450,827
VI 特別損失	
1. 固定資産除売却損	1,171
2. 減損損失	34,358
3. 関係会社株式売却損	5,331
特別損失合計	40,861
税金等調整前四半期純利益	409,965
法人税、住民税及び事業税	189,403
法人税等調整額	12,320
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△4,936
四半期純利益	213,177



## (2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (平成20年4月期 第1四半期)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	409,965
減価償却費	46,060
のれん償却額	17,793
長期前払費用償却	1,028
株式交付費	167
貸倒引当金の増減額	4,168
役員賞与引当金の増減額	8,095
受取利息	△19
固定資産除売却損	1,171
関係会社株式売却損	5,331
投資事業組合損失	1,555
減損損失	34,358
売上債権の増減額	△38,349
たな卸資産の増減額	△3,723
仕入債務の増減額	△5,025
未払消費税等の増減額	△6,079
その他	△63,028
小計	413,470
利息の受取額	19
法人税等の支払額	△427,002
営業活動によるキャッシュ・フロー	△13,512

	前年同四半期 (平成20年4月期 第1四半期)
区分	金額(千円)
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△12,011
無形固定資産の取得による支出	△35,407
関係会社株式の売却による収入	120,120
営業の譲渡しによる収入	8,338
差入保証金の回収による収入	100
その他	△98
投資活動によるキャッシュ・フロー	81,041
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
株式の発行による収入	12,045
配当金の支払額	△147,228
財務活動によるキャッシュ・フロー	△135,182
IV 現金及び現金同等物の増加額	△67,653
V 現金及び現金同等物の期首残高	2,441,966
VI 現金及び現金同等物の期末残高	2,374,312

(3) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

前年同四半期（平成20年4月期第1四半期）

	デジタル コンテンツ 事業 (千円)	コマース関 連事業 (千円)	その他の 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全 社(千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	1,437,905	408,622	81,532	1,928,059	—	1,928,059
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	45	5,002	5,047	△5,047	—
計	1,437,905	408,667	86,534	1,933,107	△5,047	1,928,059
営業費用	860,271	414,033	91,892	1,366,197	109,561	1,475,759
営業利益又は営業損失(△)	577,634	△5,366	△5,357	566,910	△114,609	452,300

(注) 1. 事業区分の方法

事業はサービスの内容及び特性を考慮して区分しております。

2. 事業区分の内容

事業区分	主要サービス
デジタルコンテンツ事業	モバイルコンテンツ及びWEBコンテンツ等の提供
コマース関連事業	インターネットや店舗等での商品販売
その他の事業	上記に該当しない事業活動により生じたもの

3. 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は114,598千円であり、その主なものは経理・総務部門等の管理部門に係る費用であります。

b. 所在地別セグメント情報

前年同四半期（平成20年4月期第1四半期）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社および重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

c. 海外売上高

前年同四半期（平成20年4月期第1四半期）

海外売上高がないため、該当事項はありません。